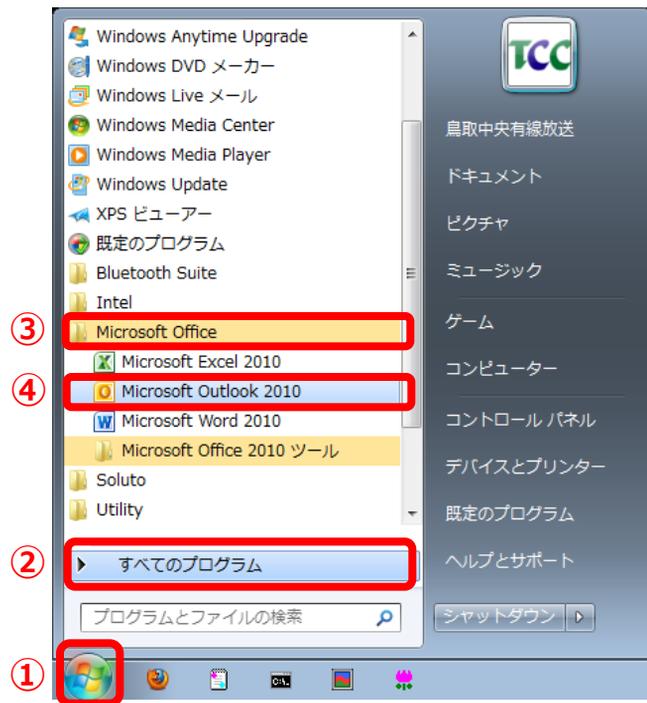


1. [Outlook 2010] を起動する

画面左下にある [スタートメニュー] から

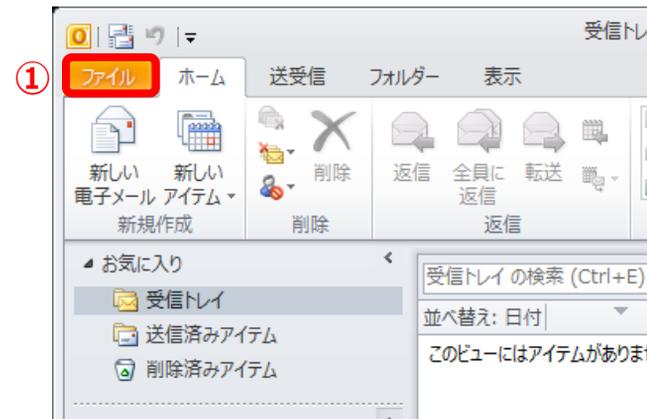
- [スタートメニュー] (①) →
- [すべてのプログラム] (②) →
- [Microsoft Office] (③) →
- [Microsoft Outlook 2010] (④)

の順に選択します。



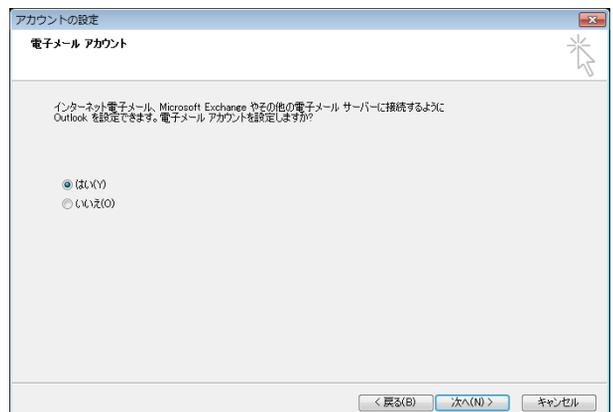
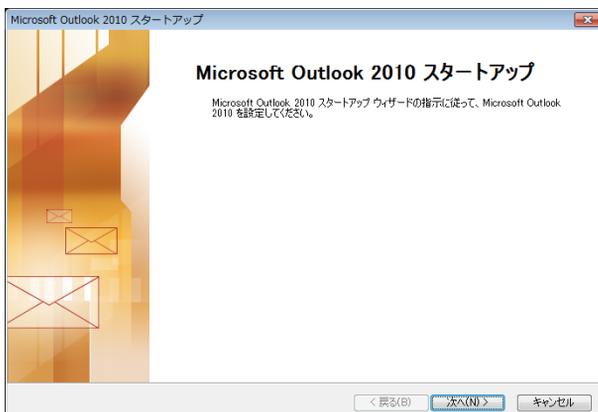
2. [ファイル] タブを開く

- [Microsoft Outlook 2010] が起動します。
- [ファイル] タブをクリックします (①)。



参考

- ・はじめてOutlook 2010を起動させた場合、下のようなウィンドウが開きます。この場合、手順 4. から設定してください。



3. 【アカウントの追加】を開く

[ファイル] タブが開きます。
 [アカウントの追加] ボタンをクリックします (①)。



4. 【手動設定】を選択する

[自動アカウント セットアップ] が開きます。
 [自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする (手動設定)] を選択し (①)、
 [次へ] をクリックします (②)。



5. 【インターネット電子メール】を選択する

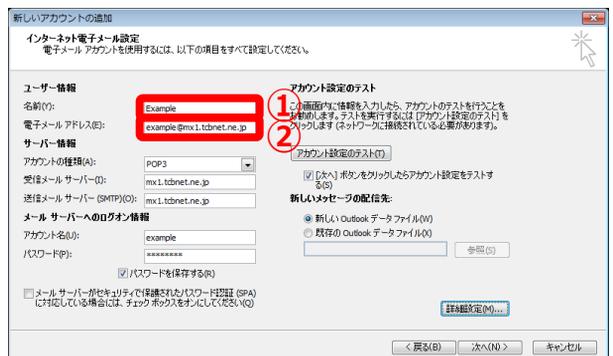
[サービスの選択] が開きます。
 [インターネット電子メール] を選択し (①)、
 [次へ] をクリックします (②)。



6. 【ユーザー情報】を登録する (①~②)

[インターネット電子メール設定] が開きます。
 [名前] にメール送信者として表示される名前を入力し (①)、
 [電子メールアドレス] に、『登録証』に記載の『アドレス』を入力します (②)。

- ・ 電子メールアドレス
 [“アカウント” @mx1.tcbnet.ne.jp]



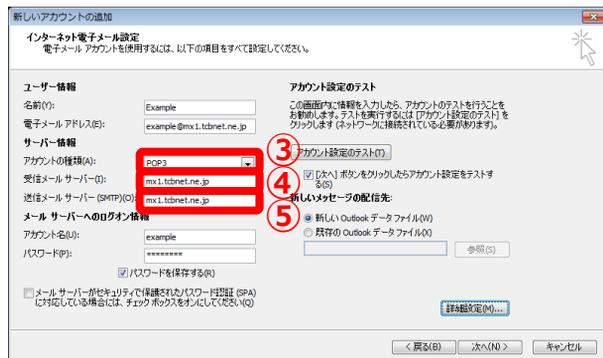
参考

- ・ 入力する [名前] は、送信相手のメールソフトに表示される名前です。

7. [サーバー情報] を登録する (③~⑤)

[アカウントの種類] に『POP3』を選択し (③)、
[受信メールサーバー]、[送信メールサーバー] に
それぞれ『登録証』に記載の『メールサーバー
(POP)』、『メールサーバー (SMTP)』を入力
します (④、⑤)。

- ・ 受信メールサーバー
[mx1.tcbnet.ne.jp]
- ・ 送信メールサーバー
[mx1.tcbnet.ne.jp]



参考

- ・ [アカウントの種類] に『IMAP』を選択することもできます。
- ※ 『IMAP』でのご利用の際にはメールサーバーの空き容量に気を付けてご利用下さい。
IMAP上のゴミ箱に移動したメールは、ゴミ箱から削除するまでサーバーに残ります。そのため、サーバー容量を圧迫することになりますので、ご自身でゴミ箱から削除していただきますようお願いいたします。

8. [メールサーバーへのログオン情報] を登録する (⑥~⑩)

[アカウント名] [パスワード] にそれぞれ、
『登録証』に記載の『アドレス』『パスワード』を
入力します (⑥、⑦)。

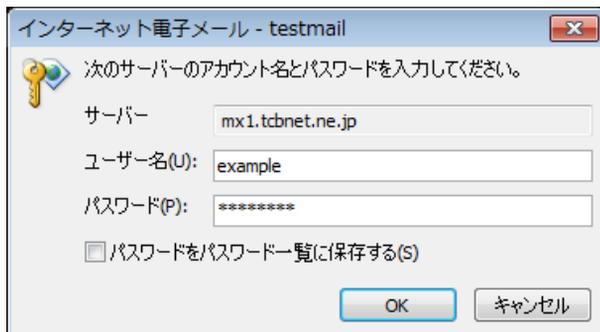
- ・ アカウント名
[“アカウント”]
(“アカウント”とは、
メールアドレスの“@”よりも左側の文字列を指します。)

[パスワードを保存する] にチェックが入っていることを確認します (⑧)。
[メールサーバーがセキュリティーで...] に
チェックが入っていないことを確認し (⑨)、
[接続設定] をクリックします (⑩)。



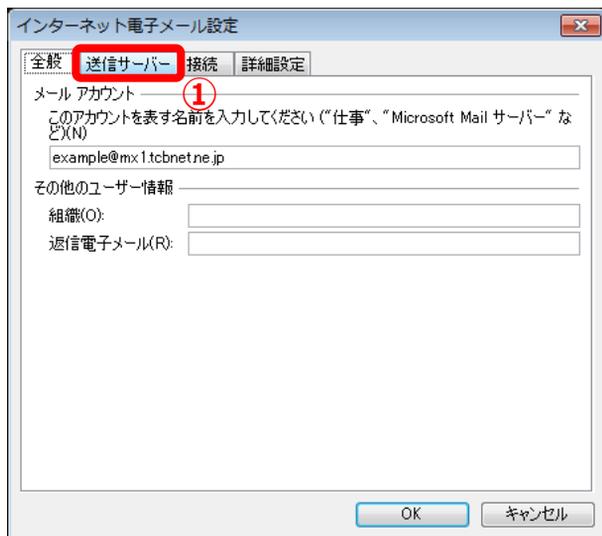
参考

- ・ [パスワードを保存する] にチェックを入れない場合、
[Outlook2010] を起動する度に [ログオン]
画面から [アカウント]、[パスワード] の
入力を求められます。



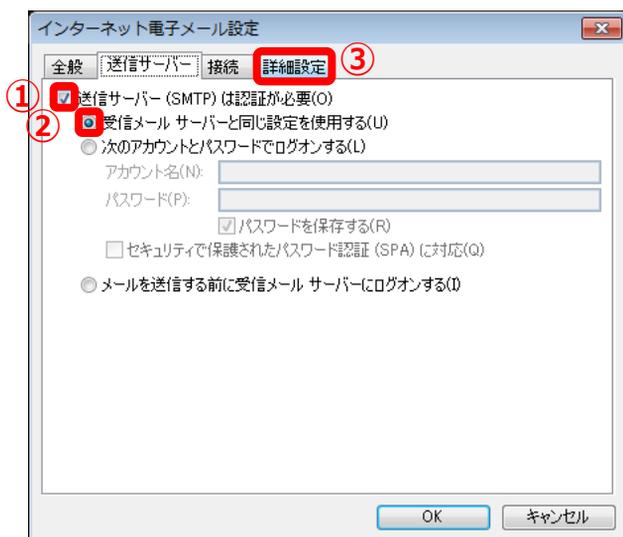
9. 【送信サーバー】タブを開く

「インターネット電子メール設定」が開きます。
 「送信サーバー」タブをクリックします (①)。



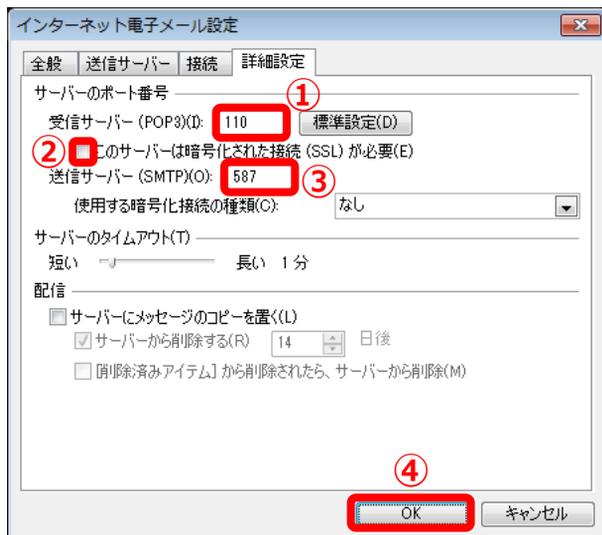
10. 【詳細設定】タブを開く

「送信サーバー」タブが開きます。
 「送信サーバー (SMTP) は認証が必要」にチェックを入れ (①)、
 「受信メールサーバーと同じ設定を利用する」にチェックを入れます (②)。
 「詳細設定」タブをクリックします (③)。



11. 【サーバーのポート番号】を変更する

「詳細設定」タブが開きます。
 「受信サーバー (POP3)」のポート番号が『110』であることを確認し (①)、
 「このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要」にチェックが入っていないことを確認します (②)。
 「送信サーバー (SMTP)」のポート番号に『587』を入力します (③)。



- ・ 受信サーバー ポート番号 [110]
- ・ 送信サーバー ポート番号 [587]

「OK」ボタンをクリックします (④)。

参考

- ・ [サーバーにメッセージのコピーを置く] にチェックを入れる場合、「サーバーから削除する」期限を適切に設定して下さい。
- ・ 受信メールサーバーにメッセージのコピーが残り続けると、送受信が正常に行われなくなる原因となります。

配信

サーバーにメッセージのコピーを置く(L)

サーバーから削除する(R) 5 日後

削除済みアイテムから削除されたら、サーバーから削除(M)

12. [インターネット電子メール設定] を終了する

[[次へ] ボタンをクリックしたらアカウント設定をテストする] にチェックが入っていることを確認し (①)、 [次へ] ボタンをクリックします (②)。

新しいアカウントの追加

インターネット電子メール設定
電子メール アカウントを使用するには、以下の項目をすべて設定してください。

ユーザー情報
名前(N): Example
電子メールアドレス(E): example@mx1.tcbnet.ne.jp

サーバー情報
アカウントの種類(A): POP3
受信メール サーバー(S): mx1.tcbnet.ne.jp
送信メール サーバー (SMTP)(O): mx1.tcbnet.ne.jp

メール サーバーへのログイン情報
アカウント名(U): example
パスワード(P): *****

アカウント設定のテスト
この画面内で情報を入力したら、アカウントのテストを行ってを確認します。テストを実行するには [アカウント設定のテスト] をクリックします (ネットワーク接続されている必要があります)。

アカウント設定のテスト(T)

新しいメッセージの配信先:
 新しい Outlook データファイル(N)
 既存の Outlook データファイル(O)

メールサーバーアドレスとパスワードを保存する(S) (パスワードを保存する(R))

メールサーバーアドレスとパスワードを保存する(S) (パスワードを保存する(R))

詳細設定(O)...

次へ(N) >

13. [テスト アカウントの設定] を確認する

[受信メールサーバーへの (POP3) へのログオン]、および [テスト電子メール メッセージの送信] が完了していることを確認し (①)、 [閉じる] ボタンをクリックします (②)。

テスト アカウント設定

すべてのテストが完了しました。 [閉じる] をクリックして続行してください。

閉じる(C)

タスク	エラー	状況
受信メール サーバー (POP3) へのログオン		完了
テスト電子メール メッセージの送信		完了

閉じる(C)

参考

- ・ [テスト アカウントの設定] で、右の図のように、『エラー』が現れた場合、 [サーバー情報] の入力が間違っています。再度、手順 7. から入力を確認してください。

テスト アカウント設定

テストの処理中にいくつかのエラーが発生しました。詳細についてはエラーの一覧を参照してください。推奨する解決方法を行っても問題が解決しない場合は、お使いのインターネット サービス プロバイダーに連絡してください。

エラー

タスク	エラー
受信メール サーバー (POP3) へのログオン	電子メール サーバーが見つかりません。アカウントのプロバイダーでサーバー情報を確認してください。
テスト電子メール メッセージの送信	電子メール サーバーが見つかりません。アカウントのプロバイダーでサーバー情報を確認してください。

- ・ [テスト アカウントの設定] で、右の図のように、 [アカウント名]、 [パスワード] の入力を求められた場合、 [メールサーバーへのログイン情報] が間違っています。再度、手順 8. から入力を確認してください。

インターネット電子メール - testmail

次のサーバーのアカウント名とパスワードを入力してください。

サーバー: mx1.tcbnet.ne.jp

ユーザー名(U): example

パスワード(P): *****

パスワードをパスワード一覧に保存する(S)

OK キャンセル

14. 【設定の終了】を確認する

[セットアップの完了] が開きます。
[完了] ボタンをクリックし完了です (①)。



以上で◀ Outlook 2010 ▶のアカウント設定が完了です。